



教えて
ドクター

ニキビは皮膚疾患、専門医に相談を 早期治療でニキビあとを防ぎましょう

ニキビは、医学的には「尋常性ざ瘡(じんじょうせいざそう)」と呼ばれる皮膚の疾患です。あとを残さないためには、早期治療が一つのカギ。新学期を前に悩んでいる子どももいます。お母さんのために正しい知識と治療法を皮膚科医に聞きました。



あい皮膚科クリニック
(宇都宮市東峰町)
院長 相原良子先生

ニキビは、毛穴の出口が詰まることで引き起こされます。下図のように、毛穴の出口が詰まることで皮脂が毛穴の中にとまり、プツプツ(面皰)ができます。すると、中でアクネ菌(ニキビ菌)が増殖し、毛穴の中から炎症が起きて赤く腫れます。さらに炎症が広がって化膿(かの)かかると、毛穴のまわりの組織が壊されてしまい、元に戻らずにニキビあととして残ることがあります。毛穴の出口が詰まってしまつ原因の一つは、思春期になると、毛穴の奥の皮脂腺から皮脂が過剰にあふれ出すため。これには、思春期前後から分泌される男性ホルモンが関与していると考えられ

ニキビは皮膚科で治療することができ、薬の分量や注意事項を守らないことがあると、後で後悔することになります。早期の治療がカギ。気になるときは、まず皮膚科に相談しましょう。また、子どもの中には、悩んでいることを隠して、治療したいのに親に言い出せない子もいます。思春期のニキビの悩みに、大人が考えているより深刻な場合があります。薬には、毛穴を開きやすくして毛穴のつまりを取り除く塗り薬、アクネ菌などを殺菌する抗菌剤などがあります。

健康保険等が適用されない場合があります。また、子どもの場合は、薬の分量や注意事項を守らないことがあると、後で後悔することになります。早期の治療がカギ。気になるときは、まず皮膚科に相談しましょう。



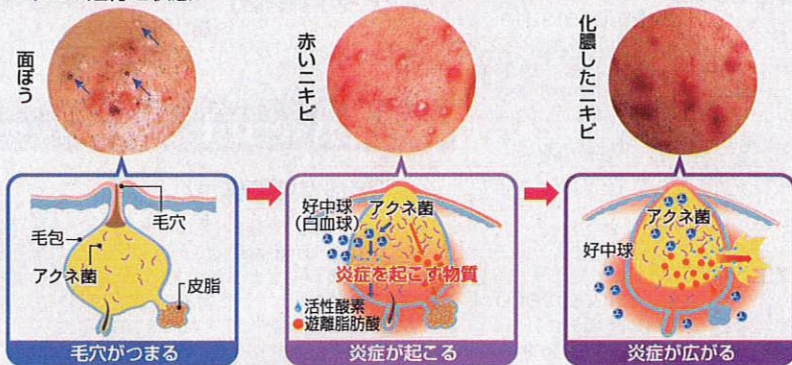
ニキビ治療は保険適用が可能ですが、**※** 気になるときは、まず皮膚科に相談しましょう



「ニキビができる原因は「毛穴のつまり」慢性化しやすい思春期は、悪化する前に対処を

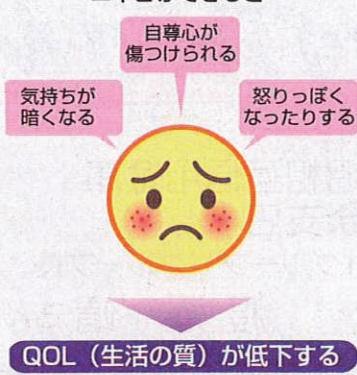
ニキビは、毛穴の出口が詰まることで引き起こされます。また、ホルモンバランスがくずれやすい上に、睡眠不足やストレスが重なることで、肌生まれ変わるターンオーバーがうまく働かなくなり、毛穴が詰まる原因となります。こういった原因が重なる思春期は、ニキビが慢性化しやすく、治るのに時間もかかり、そのために、炎症を起して悪化する前に対処すること、②日々の正しいスキンケアが、ニキビケアの重要なポイントになります。

ニキビの進行と状態



取材協力/塩野義製薬株式会社、ガルデルマ株式会社

ニキビができると...



予防は正しいスキンケアから
ストレスと食生活にも注意

繰り返すニキビがでると、かえって悪化することがあります。紫外線など外部刺激で悪化することもあるため、日焼け止めや保湿剤などのスキンケア用品は上手に活用を。敏感肌用や「ノンコメドジェネリック」と表示

洗顔を1日2回が基本です。洗すぎや皮脂をとるといってはいけません。洗顔を1日2回が基本です。洗すぎや皮脂をとるといってはいけません。